



新城 哲 議員

学校等施設の管理・整備について

質 安富祖小学校体育館下の駐車場の整備について、その後の対応を伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

駐車場がアスファルト舗装されていないのは、安富祖小学校のみとなっていますので、業者から改修に係る見積書も徴取した上で財政担当課と調整していきたいと考えています。

電力の安定供給について

質 昨年台風6号の大きな勢力の被害に遭い、1週間近く停電し、村民も厳しい生活状況を強いられました。恩納村としてO・I・S・Tと協力し、直送電や地中化送電の事業を早め

に進められないか。その後の進展はあったのか伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

停電時に活用できる太陽光発電等の活用も視野にいれ、沖縄電力と話し合いを始めたところです。

答 総務課長（宮平 寛）

避難所となる公民館等に小型の持ち運びができる発電機の整備は進めています。ホテル等への自家発電の整備補助につき、村としては、国の補助金採択に向けた各事業所の取り組みを支援していきたいと考えています。

農業振興について

質 台風6号の強い勢力により、村内の村道、農道が崩れる被害がありました。村内の道路等の復旧作業が進んでいるか伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

名嘉真区及び農家と工事期間等の調整も終え、既に工事に着手しており、9月中には工事完了予定となっています。

松くい虫について

質 松くい虫対策駆除の状況を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

沖縄県の補助事業による被害木の伐倒処理や、健全な松の幹部に、松くい虫の侵入を予防する薬剤を注入する樹幹注入も予定。国道バイパス、県道敷地内においても被害が拡大、所管の道路管理者の管轄となり北部国道事務所、沖縄県に対策を講じるよう要請しています。

質 区内、住宅近く、私有地内において被害にあった松はどのような対応となるのか伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

基本的には土地所有者に管理責任があるため、土地所有者における適正処理が望ましいと考えます。しかし被害拡大の恐れがあるなど緊急性の高い場合は村単独予算で対応していきたいと考えています。

福祉の推進について

質 包括支援センターの役割を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

全ての高齢者の暮らしを地域でサポートするために設置されている機関です。「支援業務」「権利業務」「在宅医療介護連携」さらに「認知症施策」「地域ケア会議」「生活支援の充実強化」等々役割は多岐にわたって多くあります。

質 障がい者福祉の取り組み状況について、どのような支援サービス、サポートがあるのか伺う。

答 福祉課長（石川 司）

「障害者総合支援法で決められている支援やサービスです。訓練等給付のサービスにおいては、「自立訓練」「就労支援」「居住支援」があり、「訪問」「日中活動」「施設入所」等の支援サービスを行っています。「身体障害者」「知的障害者」「精神障害者」「発達障害も含む」及び18歳未満の障害児、難病患者で受給者証をお持ちの方がそのサービスの対象になります。

質 村においても医療や介護のニーズが高まると予想されますが、村長のお考えを伺う。

答 村長（長浜 善巳）

昨今の「少子高齢化」の問題は、村においても大変喫緊な課題であり、今、取り組んでいるところです。2025年問題や生産年齢人口の減少の加速化等を見据え、医療や介護の提供体制を構築し、村民一人ひとりの自立と尊厳を支えるケアを将来にわたって持続的に実現できる医療及び介護を総合的に確保できる体制を整えていくことが重要だと考えています。

うんなまつりについて

質 まつり実行委員会のメンバーを伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

まつり実行委員会の構成員は、委員長に村長、副委員長に恩納村商工会会長、農協恩納支店長、恩納村漁業組合長、恩納村観光協会会長、委員に教育長、副村長、婦人団体連絡協議会会長、老人クラブ連合会会長、青年団協議会会長、商工会副会長、農山漁村生活研究会会長、漁協青年部部长、農協女性部部长、建設業者会会長、PTA連合会会長、校務研究会会長、金武地区消防恩納分遣所長、恩納村総務課長、等の21名となっています。

質 この中に文化協会会長が入っていないことが、とても気になりました。まつりは今度で41回目を迎えますが、その間、ずっとそのメンバーで行っていたのでしょうか。

答 商工観光課長（親泊 誠）

私も第1回目から洗い出しはしていませんが近年の構成員としては、先ほど申し上げた構成員で運営されています。

質 「しまくとぅば大会」が中止になった経緯を伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

「しまくとぅば語やびら大会」は県大

会が8月頃に開催されており、地域の予選は終わっているはずだと伺って今年度におきましては、運営委員会を6月に開催し「しまくとぅば語やびら大会」については同じプログラムでやっていた幼稚園児のお話大会も含めてプログラムから外しています。

答 社会教育課長（山田 俊幸）

しまくとぅば語やびら大会が事務調整の中でうまく図れなかったことにつきこの場を借りてお詫びします。次年度より、関係課並びに文化協会と連携を図り、情報共有していきたいと考えています。

質 文化協会というのは、社会教育の中にあり文化協会会長が入っていれば、そのようなことはなかったのではないかと思います。文化とまつりは相対的なものだと思っています。今後文化協会会長は実行委員のメンバーに入れるべきだと思いますが、当局の見解を伺う。

答 村長（長浜 善巳）

「うんなまつり」の実行委員会の件ですが、我々は見落としていたのではないかと思います。うんなまつりは村民総参加によるまつりです。次年度からは文化協会の皆様も一緒に入っていただき文化協会が関係するプログラムもありますので、皆様の貴重な意見を聞かせていただき、まつりに反映できればと思っています。

県道6号線沿いの保安林の剪定について



大城 節子 議員

質 仲泊南交差点から進入する県道6号線沿い保安林のモクマオウは高木になりユウナの木は、ガードレールよりはみ出て車の通行に支障をきたし大型車が通過する際は中央よりになり、対向車とすれ違う際に事故にならないかと懸念しています。県道6号線は、うるま市に抜ける重要な幹線道路で木が折れ、道路を塞いだ場合交通が麻痺することは一目瞭然です。当局の見解を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

仲泊南交差点手前県道6号線の保安林に関しては、車両の通行等に支障が生じていることに対し、深くお詫び申し上げます。なお保安林の剪定に関しては、9月定例会補正予算可決後に着手する予定となっています。モクマオウ



▲仲泊南交差点県道6号線沿いの保安林